

バレーボール競技規則

1. 競技規則 2007年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
2. 競技種目 男子6人制及び女子6人制の2種類とする。
3. 出場資格 関東ろう連盟体育部に登録した者により1都7県単位に編成したチームとする。
4. チームの編成
 - (1) 1チームの編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名の計15名以内とする。
 - (2) 監督、コーチ、マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。
 - (3) 構成員以外のベンチ入り及び公式練習への参加は出来ない。
5. 競技方法
 - (1) 参加チーム数によりトーナメント方式、又はリーグ戦については組み合わせ抽選・打ち合わせ会において決定する。(最終セットは15点でジュースあり)
 - (2) 全試合3セットマッチとする。
 - (3) 試合間は、20分間の休憩とする。試合進行状況により15分に変更することもある。
 - (4) リベロ・プレーヤーシステムを採用する。(1試合ごとに変更はできる)
 - (5) サービスされたボールがネットに触れて相手側コートに入った場合、そのプレーは続行される。
6. 申し合わせ事項
 - (1) 監督・コーチ・マネージャー・選手(背番号を含む)の変更は認める。
 - (2) 特別な理由(突発的な事故、病気等)がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は、今大会の競技実施要項の規定(所定の用紙に理由を明記して、大会前日までに提出する)に従って認められる。但し、追加の申込みは、一切認められない。
 - (3) 監督・コーチ・マネージャーそれぞれの記章マークのワッペンを各チームで揃える事。
 - (4) 大会当日の受付で試合に必要な(ローテーション表)を渡す。
 - (5) 主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm長さ8cmのマークをユニフォームの胸の番号の下に明確に付けること。
 - (6) 個人表彰については、審判長と専門委員との確認の上、表彰を行う。
7. 使用球 (財)日本バレーボール協会検定18枚張り5号球モルテンボールを使用する。
8. 組み合わせ抽選
 - (1) 監督・主将会議において、抽選を行う。
 - (2) 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームには、原則として出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を作成しなければならない。

- 9.表 彰 (1)優勝チームに優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダルを、2位・3位チームは、賞状・メダルを授与する。
(2)個人表彰については、最優秀選手賞を授与する。
- 10.そ の 他 スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくこと。